

第8回 地域肝炎治療コーディネーター 教育セミナー

プログラム 2015.06.25.



ホルトホール大分
大会議室

現場からの声

受検・受診・受療の問題点

第8回 地域肝炎治療コーディネーター教育セミナー

【日本医師会生涯教育講座1単位認定】取得カリキュラムコード 地域医療/13、慢性疾患・複合疾患の管理/73

謹啓

薫風の候、皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、下記のとおりを開催させて頂く運びとなりました。万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。地域肝炎治療コーディネーター又は医療従事者の方で、参加可能な方は別紙申込み用紙をFAXにて、ご送付いただきますようお願い申し上げます。なお、お申込みは6月22日（月）までの受付とさせていただきます。ご協力いただきますようお願いいたします。

謹白

記

日 時： 平成27年6月25日（木） 18:30～20:00

場 所： ホルトホール大分 3階『大会議室』
大分市金池南一丁目5番1号（代表）TEL 097-576-7555

テ ー マ： 「現場からの声： 受検・受診・受療それぞれの問題点」

総合司会 大分大学医学部附属病院 消化器内科 荒川 光江 先生

【話題提供】 18:30～18:45（15分）

座長：大分大学医学部附属病院 消化器内科 織部 淳哉 先生

「C型肝炎の最新情報」

演者：大分大学医学部附属病院 消化器内科 本田 浩一 先生

【特別企画】 18:50～20:00（70分）

座長：大分大学医学部附属病院 地域肝炎治療コーディネーター 藤田 幸子 先生
大分大学医学部附属病院 消化器内科 遠藤 美月 先生

「事例報告」

事例1. 大分市の肝炎ウイルス検診の現状と課題（25分）

大分市保健所保健予防課 白石 清美 先生

事例2. 厚生連健康管理センターにおける肝炎の取り組み（25分）

大分県厚生連鶴見病院 肝疾患センター長 大河原 均 先生

厚生連健康管理センター 地域肝炎治療コーディネーター
足立晶子先生 井上裕美子先生 曾我佳代先生

コメンテーター：清家正隆・本田浩一・織部淳哉・大河原 均

<主催>大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター
<後援>大分県・大分県医師会・大分県薬剤師会・大分県看護協会

① ジェノタイプ2型のC型慢性肝炎治療

- これまではインターフェロンをベースとした治療法しかありませんでした。
- 低ウィルス量ではインターフェロン単独治療で80-90%程度の著効率でした。
- 高ウィルス量ではリバビリンを併用インターフェロン治療で80-90%程度の著効率でした。
- 平成27年5月にジェノタイプ2型のC型慢性肝炎・代償性肝硬変患者に対し経口抗ウィルス薬/ソホスブビル+リバビリンによる治療が保険適用になりました。
- 12週間の治療で著効率は96.4%です。
- 平成27年7月より大分県でも治療費助成の申請が行えます。

② ジェノタイプ1b型のC型慢性肝炎治療

- 2014年9月に経口抗ウィルス薬/ダクラタスビル+アスナプレビルによる治療が保険適用になりました。
- ダクラタスビル+アスナプレビル併用療法による治療効果は、薬剤耐性がない場合、著効率約98%です。肝障害に注意が必要です。
- 2015年夏～秋以降、ソホスブビル+レディパスビル併用療法、オムビタスビル+パリタプレビル併用療法が保険適用になる予定です。

大分市の肝炎ウイルス検診の現状と課題

大分市保健所 保健予防課 感染症対策担当班 白石清美

本市は平成9年に中核市となり、保健所を設置して保健衛生行政を行っています。そのため、健康増進法に基づく肝炎ウイルス検診と特定感染症検査等事業実施要綱に基づく肝炎ウイルス検査の2事業を実施しています。

健康増進事業に基づく検診受診数は年々減少傾向にありますが、特定感染症検査等事業に基づく検査受診者数は年度により増減があります。陽性率は、B型・C型共に、ほぼ受診者の1%前後です。

肝炎ウイルス陽性者のフォローとしては、平成27年度より、特定感染症検査等事業実施要綱に基づく、「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業実施要領」による事業を始めたところです。

今後の課題は、●未検査の方への肝炎ウイルス検診・検査の勧奨 ●肝炎ウイルス検査陽性者へのフォロー ●医療費助成制度の情報提供 ●ハイリスクグループに対する感染予防についての啓発があげられます。

厚生連健康管理センターにおける肝炎の取り組み

大分県厚生連鶴見病院 肝疾患センター長 大河原 均

厚生連健康管理センターは、別杵速見地区を中心に全県から年間4万人以上の健診業務を行っております。平成25年度の健診者数は、男性：21,803人
女性：20,355人の計：42,158人が受診されました。

当センターでの肝炎の取り組みとしては

1. 肝機能検査
2. 肝炎ウイルス検査
3. 腹部超音波検査の3本柱で行っております。

平成25年度の肝機能検査にて要精査となった原因としては、アルコール性肝障害と脂肪肝が最も多く見られましたが、新たにB型肝炎患者が3名、C型肝炎患者が6名も見つかっております。

肝炎ウイルス検査では、B型肝炎ウイルス検査を10,975名に行い、126名のHBs抗原陽性者。C型肝炎ウイルス検査を6,275名に行い43名のHCV抗体陽性者を認めました。

また腹部超音波検査は、18,773名に行っております。脂肪肝や肝血管腫以外にも精密検査により悪性腫瘍やB型、C型肝炎患者も新たに見つけられました。

施設案内も含めて、平成25年度の当施設での健診のデータを提示します。